

# 建設委員会傍聴記

10月24日(月)午前9時から建設委員会が開かれ、冒頭、18班から新たに提出された陳情3本が読み上げられました。その後、18班提出の15、23、44、45、46号が一括審査されました。  
**新村委員(生活者ネット)** スーパー堤防のメンテナンスはどうなるのか。

**土木部** 土で盛り土し、ブルドーザーで締め固め、土密度を確認する。平井7丁目をみても心配はなく、その後は考えていない。

**新村委員** 基本的に壊れない、と言うが東日本大震災、清新町、赤羽などの地崩れを考えると「ない」とは言えない。どう考えるか。

**土木部** 例えば18班では施工基準を踏まえて進める。

**新村委員** 津波を防ぐ堤防、スーパー堤防はその上に家が建つ。万一の時、高台に避難者を受け入れられるのか。

**土木部** スーパー堤防化したとはいえ、津波からは逃げられない。しかし強化は図っていく。区としての課題は目標をもって時間、金がかかるともやっつい。

**小俣委員(共産)** 行政の責任は分るが、「何故、18班なのか」の説明がない。

**土木部** 区内のどこにも問題はあある。中川の左岸堤は貧弱、都も問題視している。区全体が低地、町づくりと連動して一歩ずつ進める。

**新村委員** 18班は納得していない。総意がないからだ。

**小俣委員** 新たな陳情も出た。'06年6月の18班二コース1号で「反対の方を押しつけるのは町づくりはできない」が、「中止は考えていない」とある。話し合う姿勢があるのか。

**土木部** 必要な事業と考えている。町づくりは区の将来を考えてやっている。

**小俣委員** 中止はあり得ない、と言う前提が問題だ。いつ強い要望があったのか。

**土木部** H16年から広報活動をしてきたが、蔵前橋通り以北は反対が強く手を付けられなかったが、18班はやってくれ、の声があり、主に町会役員と話し合い、H18年に具体化した。

**小俣委員** 「中止は考えていない」と言う前提で進めている。何としても18班をやる、と言

うレールにのって進めているのではないか。  
**土木部** 国が今年中に概算要求の取りまとめをやる。国は進めると確信している。

**小俣委員** 18班が提訴するが。  
**土木部** 細目は不明だが対処していく。

**窪田委員(公明)** 新たな陳情の内容は事実なのか。

**土木部** 5点ある。①土盛の理由はスーパー堤防と町づくりが必要。18班は階段道路や車が入れないなどの問題がある。②清新町については懇談会で説明した。③0m対策について、都市整備審議会の基本方針に従っている。④職員の高圧的態度については、話し合いをしたいので玄関のベルを押している。強引と言うわけではない。⑤アンケートについては住民がやったことなので内容は不明だ。

## 北小岩の課題は283号線

**新村委員** 北小岩は触れられていないが。

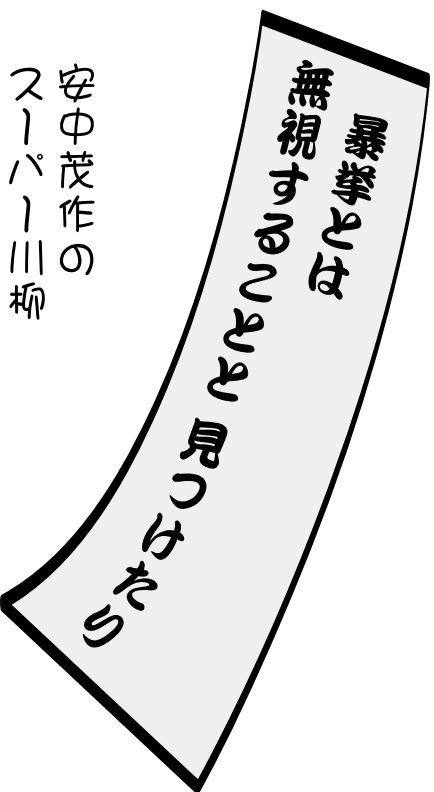
**土木部** 283号線整備が必要と認識している。283号線は江戸川沿い。京成江戸川駅周辺の活性化などでH16年から話し合ってきた。

**田島委員長(自民)** 本日結論を出すか否か。意見を聞きたい。

**新村委員** 国が年内に結論を出す、と言っている。それを待つべきだ。

**小俣委員** 新村委員と同じだ。1割から2割の重点区間を示す、というならそれを待つてからいい。

**田島委員長** 本日は継続。次回結論を出す。



安中茂作の  
スーパー川柳  
第七十一弾